

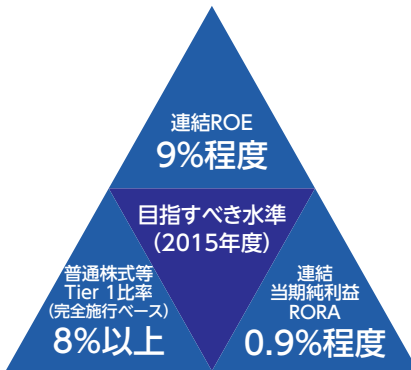
中期経営計画の達成に向け、概ね順調な進捗

One MIZUHOシナジー効果の発揮に加え、顧客部門や非金利収支を軸とした安定的・持続的な収益構造への転換が着実に進展。

- 1 連結中間純利益は、3,552億円、年度計画5,500億円に対して64%の進捗率
- 2 普通株式等Tier1比率（第11回第11種優先株式を含む）は完全施行ベース^{※1}で、9.94%と、自己資本の充実も着実に進展

※1 2019年3月末のパーゼルⅢの完全施行時基準、調整項目を全額控除した当社試算

2014年度上期実績 (財務目標)

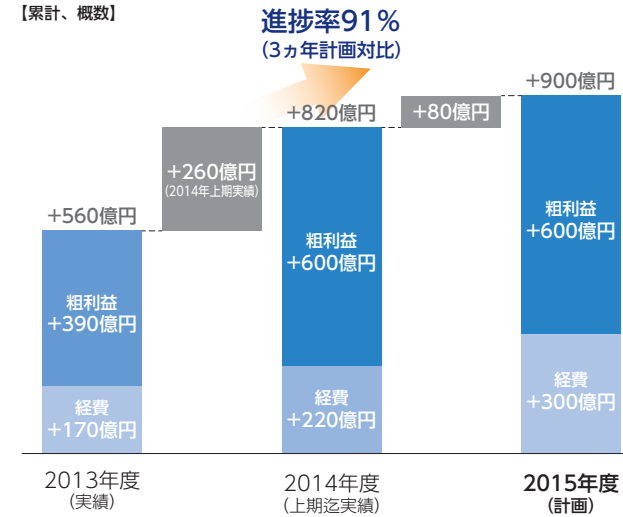


	2013年度 実績	2014年度 上期実績	2015年度 計画
連結ROE	11.1%	10.4%	9%程度
連結当期純利益 RORA	1.1%	1.1%	0.9%程度
普通株式等Tier1比率 (完全施行ベース)	9.08% (含む第11回第11種 優先株式)	9.94% (含む第11回第11種 優先株式)	8%以上 (含む第11回第11種 優先株式)
収益性	連結当期純利益 6,884億円	3,552億円	5,500億円レベル
効率性	グループ経費率 ^{※2}	61.6%	59.7%
	経費率（銀行部門） ^{※3}	57.3%	56.0%
健全性	政策保有株式/Tier1 ^{※4}	28%	27%

※2 銀行・信託・証券合算 ※3 銀行・信託合算 ※4 パーゼルⅢ移行措置ベース、第11回第11種優先株式を普通株式等Tier1に含む。ヘッジ効果勘案後

One MIZUHOシナジー効果 (計画と進捗)

3カ年計画対比91%の進捗率



	13年4月~14年9月 実績	13~15年度 計画
粗利益増強	+600億円 [進捗率 100%]	+600億円
銀行部門	+190億円	
リテール関連	+50億円	
事業法人関連	+110億円	
市場関連	+30億円	+300億円
証券部門	+190億円	
グループ一体運営効果	+220億円	
経費削減	+220億円 [進捗率 73%]	+300億円
銀行部門	+140億円	
証券部門	+80億円	
合計	+820億円 [進捗率 91%]	+900億円

(注) 計数はいずれも社内管理ベースに基づく2012年度対比での効果

収益構造の転換

顧客部門や非金利収支を軸とした安定的・持続的な収益構造へ

顧客部門収益 (2012年度比)

	金利収支	非金利収支
国内部門	+80	+230
海外部門	+410	+340
合計	+490	+570

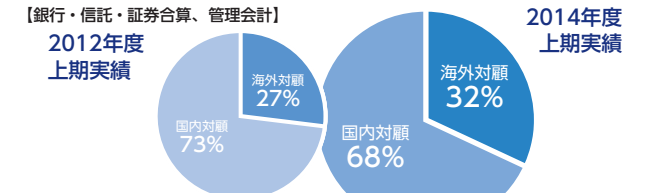
顧客部門収益 +1,060億円

2013年4月~2014年9月 (累計)

2015年度までの3年間で2,000億円の増加[※]を目指す

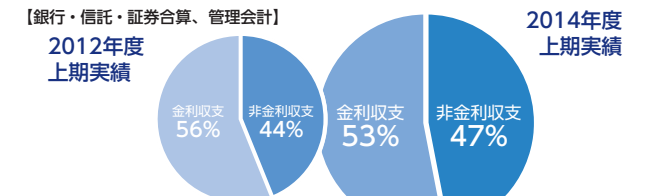
※為替影響を含む

海外対顧収益比率 (業務純益)



2015年度に海外対顧比率33%程度を目指す

顧客部門非金利収支比率 (業務粗利益)



2015年度に非金利収支比率50%程度を目指す

(注) 計数はいずれも現行中期経営計画開始直前の年度である2012年度計数との比較